

みんななかまよ

いわさきちひろ ぼつこ 50ねん
こどものみなさまへ



2024年10月12日(土)から
2025年1月31日(金)まで

展覧会ディレクター
近森基+小原藍 (plaplax)

企画協力
塩瀬隆之



ちひろ美術館・東京

いわさきちひろ ぼつご50ねん こどものみなさまへ

いわさきちひろ ぼつご50ねん こどものみなさまへ
展覧会スケジュール

あ・そ・ぼ

2024年3月1日(金)～6月2日(日) 安曇野ちひろ美術館
6月22日(土)～10月6日(日) ちひろ美術館・東京

みんななかまよ

6月8日(土)～9月1日(日) 安曇野ちひろ美術館
10月12日(土)～2025年1月31日(金) ちひろ美術館・東京

あれこれいのち

3月1日(金)～6月16日(日) ちひろ美術館・東京
9月7日(土)～12月1日(日) 安曇野ちひろ美術館

展覧会特設サイト

<https://chihiro.jp/2024kodomom>



ちひろから、いまのこどもと、 かつてのこどものみなさまへ――

2024年はいわさきちひろの没後50年。

半世紀のときを超えて、ちひろの絵が語りかけてくるものとは……？

「あそび」「平和」「自然」の3つのテーマから、

現代科学の視点も交えて、ちひろの絵を読み解きます。

子どもも大人も見ただけでなく参加したくなる、

今までにないちひろの展覧会です。

いわさきちひろ (1918～1974)

福井県武生(現・越前市)に生まれ、東京で育つ。東京府立第六高等女学校卒。藤原行成流の書を学び、絵は岡田三郎助、中谷泰、丸木俊に師事。第二次世界大戦後、紙芝居や教科書、絵雑誌、絵本など子どもの本を中心に画家として活躍。生涯にわたって子どもや花を描き続けた。1974年没、享年55。現存する作品は約9600点。



展覧会ディレクター

近森基+小原藍 (plaplaX)

インタラクティブな作品制作を軸に、展覧会の展示構成、空間演出、映像コンテンツの企画制作など幅広く活動する。さまざまな手法やメディアを使って、創造的な学びや発見のある体験づくりに取り組む。2018年、「いわさきちひろ生誕100年『Life展』あそび plaplaX」をちひろ美術館で開催。



無垢な子どもたち、美しい自然、平和への願い。

これらは、ちひろさんが生涯を通して描いたテーマです。

没後50年にあたる1年間、改めてこのテーマと向き合おうとしたとき、〈科学の目〉を通してみることを考えました。とはいえ難しい知識や情報を駆使するわけではありません。目の前のものの“ありのまま”をよく見て受け止め、そこから出発する。科学の目は、特別な人が難しいことを考えるためのものではなく、だれもが見慣れた風景を、新たな発見にあふれた豊かな世界に変化させるまなざしだと思ったのです。本来子どもたちは、そんな風に見世界を見つめているかもしれません。

会場で作品を見たり触れたり、体を動かしたり。子どもも大人も「わあ！これはなんだ？」とわいわいっしょになって進んでいく。そんな展覧会のあり方を目指しました。

「みんななかまよ」展企画協力

塩瀬隆之(京都大学准教授/システム工学、インクルーシブデザイン)

日本科学未来館ロボット展リニューアルで問いの監修、徳島県立博物館リニューアルでインクルーシブデザインの観点から監修するなど、多様な人を深い学びに誘う「問い」のデザインを探究し続けている。



※インクルーシブデザインとは、障害のある人や高齢者など特定のニーズをもった人々を、製品や公共空間のデザインなどに巻き込んでいくデザイン手法です。多様な人々が抱える課題を包括的に解決するには、実は特定の人が抱えるニーズを根源的に探究することがアイデアに結実する合理的な方法です。

「へいわのはんたい」を考えるとしたら、みなさんはどんなことばを思い浮かべますか。もし「戦争」や「争い」といったことばを使わないとしたら、どんなことばを頼りにしますか。いわさきちひろにとって、心を痛めたであろう戦争について直接扱った作品は多くはなく、それと反対に、ただ子どもを描き続けたのです。子どもの絵本を描いてきたちひろならではの視点こそ、「へいわ」と向き合う拠り所になるかもしれないと考えました。

館内には、絵本から着想を得た「問い」をならべています。どれもすぐに答えが見つかるような「問い」ではありませんが、ちひろさんが絵本にのこしてくれたやさしい世界にたくさんのヒントがまつまわっていると考えています。みなさんがこれから先、だれかといっしょに「へいわ」について考えたいと願うとき、ちひろの絵本を思いだしていただくことが、きっと「へいわ」に向き合うわたしたちの力になると信じて。

図版について

本リリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。

ご希望の方は、別紙「広報用作品画像データ貸出依頼書 兼 借用誓約書」をご覧ください。

※必ず絵のそばに作家名・作品タイトル・制作年を明記してください。※トリミングや文字が絵にかかるようなレイアウトはご遠慮ください。

※データ等チェックのため、校正段階で原稿をお送りください。※掲載紙/誌をご送付ください。



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団

ちひろ美術館・東京

chihiro.jp



お問い合わせ

広報担当 松方・原島・北村

〒177-0042 東京都練馬区下石神井4-7-2

TEL.03-3995-0772 (業務用) FAX 03-3995-0680

TEL.03-3995-0612 (代表)

E-mail: publicity@chihiro.or.jp

いわさきちひろ ぼつご50ねん
こどものみなさまへ
みんななかまよ

2024年10月12日(土)～2025年1月31日(金)

ちひろ美術館・東京

主催：ちひろ美術館
 展覧会ディレクター：近森基+小原藍(plapla)
 企画協力：塩瀬隆之
 協力：谷川俊太郎・講談社
 後援：絵本学会、(公社)全国学校図書館協議会、(一社)日本国際児童図書評議会、日本児童図書出版協会、杉並区教育委員会、西東京市教育委員会、練馬区

みんなで かんがえる
 みんなの へいわ——



1 いわさきちひろ そっぽを向く少年 「となりにきたこ」(至光社)より 1970年



2 いわさきちひろ そっぽを向く少女 「となりにきたこ」(至光社)より 1970年

「みんな仲間よ」 私は自分の心にいきかせて、なつかしい、やさしい、人の心のふる里をさがします。絵本の中にそれがちゃんとしまっているのです。

いわさきちひろ 1972年

このことばは、いわさきちひろが、自身の絵本に寄せてつづったものです。改めてちひろが絵本を通してわたしたちに伝えたかったことを見つめ直し、ちひろのことばから「みんな まかまよ」を展覧会のタイトルにしました。「へいわ」をテーマにした本展では、さまざまな「問い」をデザインしてきた塩瀬隆之氏の協力を得て、ちひろの絵を起点として、子どもから大人まであらゆる人が、ひとりひとりの個性を大切に、ともに「へいわ」をつくるための手がかりを探します。「問い」は、多様な人々を深い学びへと誘います。いっしょに考えて「へいわ」のかけらを集めていきましょう。

展覧会の見どころ

1 「へいわ」を考えるたくさんの問い

ふたりの子どもが出会い、葛藤を越え、心を通すまでの過程を描いた絵本『となりにきたこ』には「へいわ」をつくるまなざしがあります。塩瀬隆之氏がちひろの絵本をテーマに「へいわ」のための問いをつくります。そこに答えはありません。ひとそれぞれの考えがうかびあがってくるでしょう。

2 ちひろ×谷川俊太郎の絵本『ひとりひとり』をてがかりに

ひとりひとり 簡単にふたりにならない

ひとりひとり だから手がつなげる ……谷川俊太郎 「ひとりひとり」より抜粋

わたしたちが互いの違いを認め、ともに心豊かにくらし、「へいわ」をつくるためにはどうしたらよいでしょうか？
ちひろの絵と響き合う谷川俊太郎の詩「ひとりひとり」を起点に考えます。



3 いわさきちひろ チューリップのなかのあかちゃん 1971年



4
いわさきちひろ
シクラメンの花のなかの子どもたち
『戦火のなかの子どもたち』（岩崎書店）より
1973年



5 いわさきちひろ
木の葉のなかの少女 1966年



6 いわさきちひろ ロンドン橋がおちる 1966年



『ひとりひとり』 展示風景

図版について

本リリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。

ご希望の方は、別紙「広報用作品画像データ貸出依頼書 兼 借用誓約書」をご覧ください。

※必ず絵のそばに作家名・作品タイトル・制作年を明記してください。※トリミングや文字が絵にかかるようなレイアウトはご遠慮ください。

※データ等チェックのため、校正段階で原稿をお送りください。※掲載紙/誌をご送付ください。

展覧会の見どころ

3 ともに楽しむ

展示室で、絵を見るだけでなく、みんなでいっしょに色や線や音を出してみましょう。plaplaxによるインタラクティブな作品では、みんなで合唱や合奏のようにセッションをして、ちひろの絵の世界をともに楽しむことができます。

4 ともに考える

「みんな なかまよ」展では、いろいろな視点、たくさんのことばで、「へいわ」について考えます。「へいわ」を考えるためのワークを通して、子どもから大人までみんなで力を合わせてたくさんのことばを探します。自分でことばを探したり、他の人のことばを知ったりすることで新たな気づきが得られることでしょう。



7 plaplax ふたりのベンチ 2024年



8 plaplax スーぼんタンレーン 2024年



9 plaplax だぁ・いー・あ！ローグ 2024年



へいわのためのワークショップ



へいわのためのワークショップ

図版について

本リリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。

ご希望の方は、別紙「広報用作品画像データ貸出依頼書 兼 借用誓約書」をご覧ください。

※必ず絵のそばに作家名・作品タイトル・制作年を明記してください。※トリミングや文字が絵にかかるようなレイアウトはご遠慮ください。

※データ等チェックのため、校正段階で原稿をお送りください。※掲載紙/誌をご送付ください。



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団

ちひろ美術館・東京

chihiro.jp



お問い合わせ

広報担当 松方・原島・北村

〒177-0042 東京都練馬区下石神井4-7-2

TEL.03-3995-0772 (業務用) FAX 03-3995-0680

TEL.03-3995-0612 (代表)

E-mail: publicity@chihiro.or.jp

展覧会関連イベント

■紙の葉っぱをつくろうwith「みんな なかまよ」展

日時：11月30日(土) 10:00～12:00 / 14:00～16:00
 講師：佐藤 落(子どもの手づくりおもちゃ作家)、塩瀬隆之(本展企画協力者)
 定員：各回10組 / 参加費：無料(入館料別) / 対象：小学生と保護者
 申し込み：要事前予約(10/30より公式サイト、TELにて)

「みんななかまよ」展の企画協力者である塩瀬氏と、おもちゃ作家の佐藤さんと、葉っぱをテーマにワークショップを行います。

●plaplax アーティスト・トーク 「いわさきちひろの魅力と秘密」

日時：12月15日(日) 14:00～15:30
 講師：近森基十小原藍(plaplax)
 聞き手：福田幹(編集者、アートコーディネーター)
 会場：【ちひろ美術館・東京 図書室】定員：30名
 参加費：1,000円(入館料別)
 【オンライン】定員：80名 / 参加費：700円
 申し込み：要事前予約(11/15より公式サイト、TELにて)

本年、展覧会「いわさきちひろ ぼつご50ねん こどものみなさまへ」のディレクターを務めたおふたりに、その舞台裏や、展覧会の準備をとおして感じたちひろの新たな魅力を聞きます。

そのほかのイベント

●わらべうたあそび

日時：11月16日(土) 11:00～11:40
 講師：服部雅子(西東京市もぐらの会代表、はとさん文庫主宰)
 定員：8組16名 参加費：無料(入館料別)
 対象：0～2歳児と保護者
 申し込み：要事前予約(10/16より公式サイト、TELにて)

■出張「子育ての広場」

日時：11月19日(火) 10:00～15:00
 参加費：無料(入館料別)
 申し込み：不要 / 協力：NPO 手をつなご
 展覧会を見る前後に、「こどもの部屋」で遊んだり、保育の専門家とおしゃべりしたり、しませんか。

■アートリップ：アートの旅

日時：11月21日(木) 14:00～15:00
 講師：松尾真紀子(Arts Alive 認定アートコンダクター)
 定員：4組 / 参加費：無料(入館料別)
 申し込み：要事前予約(10/21より公式サイト、TELにて)

■手話通訳つきギャラリートーク

日時：12月7日(土) 14:00～14:30
 定員：15名 / 参加費：無料(入館料別)
 申し込み：要事前予約
 (11/7より公式サイト、TELにて)



■ワークショップ

ひとりひとりの1ページ 工作絵本をつくろう

日時：12月21日(土) 10:30～12:00
 講師：富田めぐみ(NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会 代表理事)
 定員：8組 / 参加費：無料(入館料別)
 対象：外国語を母語とする3～12歳児と保護者
 申し込み：要事前予約(11/21より公式サイト、Tel.にて)

今までで、とっても嬉しかったこと、楽しかったことをテーマに、工作絵本をつくります。

●松本猛ギャラリートーク

日時：12月22日(日) 14:00～14:30
 参加費：無料(入館料別) / 申し込み：不要

ちひろのひとり息子である松本猛(ちひろ美術館・常任顧問)が、展覧会の見どころや、母・ちひろの思い出を話します。

●成人の日特典


2025年1月2日(木)～13日(月)まで、新成人の方は無料でご入館いただけます。

●ギャラリートーク

日時：毎月第1・3土曜日 14:00～14:30
 参加費：無料(入館料別) / 申し込み：不要

●絵本のじかん

日時：毎月第2・4土曜日 11:00～11:30
 参加費：無料(入館料別) / 申し込み：不要
 協力：NCBN(ねりま子どもと本ネットワーク)

■=令和6年度 Innovate MUSEUM事業 



展覧会基本情報

展覧会名	いわさきちひろ ぼつご50ねん こどものみなさまへ みんななかまよ
会期	2024年10月12日(土)～2025年1月31日(金) ※会期は予告なく変更になる場合があります。 ○開館時間＝10:00～17:00 (最終入館は16:30まで) ○休館日＝月曜日(祝休日の場合は開館、翌平日休館)、 年末年始(12月28日～1月1日)
入館料	大人1200円 / 18歳以下・高校生以下は無料 団体(有料入館者10名以上)、65歳以上、学生の方、 保護者割引(同伴する18歳以下の子ども1名につき2 名まで)は900円 / 障害者手帳ご提示の方とその介添え の方(1名)は無料 / 年間パスポート3000円
交通	○電車の場合＝西武新宿線 上井草駅下車徒歩7分 ○バスの場合＝JR中央線荻窪駅より西武バス石神井公 園駅行き(荻14) 上井草駅入口下車徒歩5分 / 西武池袋 線石神井公園駅より西武バス荻窪駅行き(荻14) 上井草 駅入口下車徒歩5分

*最新のイベント情報は公式サイトでご案内しています。

※イベントおよび開館情報、会期、展示名は予告なく変更になる可能性があります。最新情報につきましては、公式サイトをご覧ください。お問い合わせは、お電話でお問い合わせください。